



「名大の授業」の特徴

- * 「名大の授業」というニックネームを採用
- * 部局長推薦と委員会推薦
- * 1分間授業紹介
- * 授業の工夫



一分間授業紹介

- * 授業を担当する教員が自らの言葉で語る授業紹介



部局長による教育紹介

- 2. 名古屋大学工学部の学生のことをどのようにに思いますか？またどんな風に育ってほしいですか？
- 昔と比べても、名古屋大学の学生さんは学力的には全く問題ないと思います。しかし、できるだけいろんなことに目を向けてほしいですね。大学に入ると、どうしても「専門家」という視点から狭い分野にだけ注目してしまう学生がいますが、広い視点で物事を見てほしいですね。また、いろんなことに挑戦してほしいです。
- 5. 高校生と現役大学生へのメッセージをお願いします。
- ぜひ、勉強だけに限らずいろんなこと挑戦してほしいです。これは若い頃しかできないことです。大学というところは、いろんな選択肢から自分に一番合っているものを見つけて出すところです。いろんなことをやってみて自分の一番合っているものを見つけてほしいですね。



授業の工夫

- * 授業改善のためのアイデアの宝庫
- * 魅力ある授業を行うための様々な工夫



ボードゲームを究める

- * 授業の設計においては、純粋な娯楽であるボードゲームを使って、いかに多角的にリテラシーの授業として成立させるかがポイントであると思います。受講生がほとんど知識をもたないような外国製ゲームを使うことはよかったです。なぜなら、ルールを自分で理解し、他人にプレゼンしてわからせ、プレイを通じて戦略を考え、議論する、また、同時に外国の文化的背景も考える、・・・というように、様々な要素が含まれています。



朝鮮・韓国語 I

- * 「楽しい」と「楽だ」は同じ漢字を使っても意味が大きく異なるのですが、これを同一線上で考える傾向があるようです。「楽しさ」は苦勞した末に得られるもので最初から求めてもだめだ、という考え方は過去のものになってしまったと考えざるを得なくなっているようです。伝統的な考え方を捨てるつもりはありませんが、今すぐ得られる「楽しさ」の工夫も必要ようです。それをどうするかは個々の担当教員に任されていますが、1つの共通の方法として韓国の 歌(国歌、童謡、民謡、歌謡曲、クリスマスソングなど)の練習を授業中に取り入れています。学生にとっても教員にとっても温度差はありますが、90分の授業の緊張を緩和する効果があります。また、適切なコメントを付けて練習すれば、発声練習、発音練習としての効果も期待できます。また、若い担当教員は言葉ゲームを授業に取り入れています。ゲーム感覚が学生には好評とのこと。



ドイツ語 4

- 私の教授法の3原則は学習者の側から見れば
- ・予習をしない
- ・辞書を引かない
- ・日本語に翻訳しない
- になります。
- 「ことば」というものは「苦痛の種」としてではなく、「楽しみの源」として学ぶべきでしょう。だから、苦痛を与える授業、権威的な授業、間違いを咎めるような授業は最低です。



英語 (コミュニケーション) I

- * 学ぶ楽しさ
- 劇が単調にならないように、音響や照明などをできるだけ使うように促しています。教科書を使わないので、その分のお金を出し合っています。金額は自由ですが、会計係を決めて、劇団ごとにお金の管理をしてもらっています。これらの要素は英語には直接関係はしないのですが、劇の完成度が高いほど、それに比例して学ぶ意欲や楽しさが増えているようですので、積極的に取り入れてもらっています。



まとめと今後の展開

- 「授業の工夫」は授業改善のためのアイデアの宝庫
- 是非、他大学でも「授業の工夫」を公開して欲しい
- 英語ページを充実させる
- 映像コンテンツの効果的な利用法について検討